



ふちゅうこくさいこうりゅう 府中国際交流サロンは、府中に住む
にほんじん がいこくじん なかよ たす あ
日本人と外国人が、仲良く助け合っ
たの せいかつ ねが かつどう
楽しく生活していくことを願って、活動を
つづ 続けています。

くろするろ〜ど

2025/3月号 第301号

かいほうし
会報誌

★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★



★★★★crossroad★★★★★★★★crossroad★★★★

げっかん がつ
〜サロン月間カレンダー〜3月〜

つど ねん かいさい
『『サロンの集い』が5年ぶりに開催』

■日本語学習会

日時：3月3日(月)〜3月24日(月)
月(午前・午後)水(午後)金(午後・夜)
土(午後)

場所：会議室・学習室ほか

■実行委員会

日時：3月12日(水)午前10時〜昼12時
場所：会議室

■「サロンの集い」

日時：3月1日(土)午後1時半開場 2時開始
場所：ルミエール・コンベンションホール飛鳥
対象：サロンのボランティアと学習者(家族・友人
も含む)
参加費：300円

■第54回「府中市民桜まつり」出展

日時：3月22日(土)・23日(日)
午前10時〜午後4時
場所：府中公園
内容：ブースでサロンのPR、「民踊ながし」参加

■フューチャー休館日

3月19日(水)は、フューチャー全体がお休みです。

3月1日(土)、午後2時よりルミエール・コンベンションホール飛鳥において「サロンの集い」が開催されました。2019年12月14日(土)に「バルトホール」で開催されたのを最後に、コロナのために長い間、休止を余儀なくされてきましたが、このたび5年ぶりに再開することができました。

ボランティアも学習者も、ほとんどの方が一つの学習会に属し、ほかの学習会の方々との交流の機会が少なく、「サロンの集い」は、サロンのメンバー全員の貴重な交流の場として創設時から長きにわたり引き継がれてきた大切な行事です。

当日は、ボランティア72名、学習者とその家族、友人を含む60名、総勢132名が集いました。この日のために作られた準備委員会の皆さんが企画してくださった民族衣装の披露やゲームや踊りや歌を楽しみながら和気あいあいのうちに会は進みました。また、料理チームの皆さんが作ってくださった世界のお菓子(中国、スペイン、フランスの3種)も会に彩りを添えてくれました。

今回は、府中国際交流サロンの30周年を記念する、さらに盛大な「サロンの集い」を来年、1月31日(土)に予定しています。サロンの皆さん全員でまた素晴らしい集いを実現したいと思いますのでよろしくお願いたします。今回の詳しい模様は、次号で紹介いたします。(編集部)

*以上の件について、詳しいことはサロン事務局で聞いてください。



世界の文化



「日本語学習発表会の原稿を紹介」

2024年12月14日(土)に、日本語学習発表会がありました。そこで発表された内容を随時、紹介します。

「中国旅行のおすすめ」

ワン シャンジ ちゅうごく
王 香霁 (中国)



こんにちは、私はワンシャンジと申します。中国の安徽省出身です。2016年に日本にきました。現在、府中市白糸台に住んでいます。家族は夫と5歳の子どもの3人で一緒に暮らしています。

皆さんが中国を旅行するなら、おすすめしたい都市が3つあります。上海、北京、黄山です。

まず、最もおすすめなのは上海です。上海の料理はあっさりしていて、甘くて辛くなく、日本人の口に合うと思います。小籠包はとてもおいしいですし、焼き小籠包もおすすめです。特におすすめの食べ物には「おにぎり」ですが、日本のおにぎりとは形が違い、円柱形です。もち米を使い、かわを作って、中にさまざまな具材を入れます。たとえば、カリカリの揚げパン、肉そぼろ、豚の角煮、ピーナッツなどがあります。最後にしっかりと包んで完成です。上海の夜景も美しく、特に外灘が有名です。夜になるとクルーズ船が行き交い、風景がさらに美しくなります。

次に紹介するのは北京です。北京といえば万里の長城や北京ダックを思い浮かべる方が多いでしょう。今は日本のスーパーでも北京ダックを買うことができます。北京を旅行するなら、秋が一番の季節です。秋は気温が暑すぎず寒すぎず、ちょうど良い天気

で、日本と同じようにきれいな紅葉が見られます。さらにおすすめなのは、故宮でのアフタヌーンティーです。宮廷風のお菓子を楽しむことができますが、事前に予約が必要です。

最後に、私の故郷の近くにある世界遺産の黄山を紹介します。松、石、雲海、温泉などで有名で、「天下第一の山」と称賛されています。黄山の日の出と日の入りは絶景で、中国国内でも非常に有名です。黄山のお土産には臭豆腐、焼き餅、おしどうふなどがあります。臭豆腐は独特のにおいがあり、好きな人にはたまらなく、苦手な人には食べにくいかもしれません。焼き餅は小麦粉で皮を作り、からし菜とひき肉で餡を作り、カリカリに焼いておいしいです。

もし機会があれば、ぜひみなさん中国へ来てください。



「ワールドカフェでホットク作り」

クシャーール・セルバラジャ (マレーシア)

2025年1月24日、私は府中国際交流サロンで開催されたワールドカフェイベントに参加した。ワールドカフェイベントは、私のような留学生が世界の様々な味を体験する機会である。今回は「ホットク」という韓国のお菓子を作りました。

このイベントに参加するまでは、ホットクについて知らなかったのですが、試してみるのが楽しみだった。市村さんや他のボランティアの方々の指導のもと、他の留学生と一緒に材料を準備しました。このような機会はあまりないので、他の学生と一緒にアクティビティをするのはとても楽しかったです。お正月以来、顔を合わせていない留学生もいたので、久しぶりに会えて嬉しかったです。ホットクを作る工程は本当に簡単で、あまりのおいしさに



驚きました。こんな味は初めてだったので、また友達に作ってあげようと思います。

ホットクを作った後は、一緒に座ってお茶をしながらホットクを楽しみました。ボランティアの人たちや留学生と話すいい機会になった。いろいろな種類のお茶が用意されていたので、用意してくれたボランティアの方々に感謝したい。

ホットクとお茶を楽しんでいるうちに、里村さんが(Who Am I?)というゲームセッションを始めた。一人一人にアイテムが配られ、他の参加者が質問できる。答える人はイエスかノーで答える。参加者は、そのアイテムが何であるかを当てなければならなかった。とても楽しかったし、留学生にとっては日本語の練習にもなったと思う。

最後にみんなでキッチンを片付けて、イベントは終わった。イベントがあつという間に終わってしまったのは寂しかったけど、このような機会を与えてくれたことに感謝しています。ワールドカフェのイベントで、また世界中の面白い料理やデザートを作れたらいいなと思います。

(注)ホットクは韓国の代表的屋台スイーツで日本のおやきにも似た形態で小麦粉とタピオカ粉を混ぜたもちもちした食感のお菓子です。中に黒砂糖とピーナツのソースが入っています。



ワールドカフェに集まった人たち



わたし
私のふるさと ~ 55 ~

「ふるさとの食文化」

どよう
土曜ボランティア ナントゥエ カン (ミャンマー)

私のふるさはミャンマーの東部、シャン州にある小さな町です。標高が高く、自然も美しい高原にあります。ミャンマー全体の気候は3つに分けられ、雨季、乾季、暑季がありますが、シャン州では暑季でも温暖の差があり、日中は暑くても、夕方から肌寒く感じるような地域です。幼い頃過ごした寒い日々は今でも新鮮な思い出として残っています。

農作物も豊富で、お米や豆類、果物などがとても美味しいです。寒い日に早朝からランニングやジョギングをしたあと、焚火で暖を取りながら食べる「みかん」は何より美味しかったです。そして、竹にもち米と水を詰め込んで、焚火の周りで焼いて食べる温かい竹ご飯(Bamboo Rice)は香ばしくて、お腹も満たされます。味付けはシンプルで塩のみですが、落花生を入れる時もあります。シャン州ではもち米がよく食べられていて、おにぎりも食べますが、日本のように具は種類が多くありません。しかし、日本の梅干しと非常に似ているアマザサの果実をおにぎりの具にして食べています。その果実は梅ほど硬くなく、手で潰せる程度の硬さです。炭火焼で焼いたあと、ご飯の上に乗せて塩、砂糖を少々振りかけて潰して握ります。香ばしくて甘酸っぱい味で、やみつきになるおにぎりです。シャン語で「マッロツオンカオ」と言います。日本で初めて梅干しおにぎりに出会ったとき、この「マッロツオンカオ」をすぐ思い出しました。他国で地元の味を発見できて嬉しかったです。

先述のようにミャンマーと日本は共通の食文化がたくさんあります。「ちまき」や「お団子」など米類の食べ物だけではなく、発酵食品文化も共通しています。様々な種類があるミャンマーの発酵食品ですが、日本人を驚かせるのは納豆と馴れ鮫とおもいます。シャン州の納豆は見た目や味、食べ方も日本と

学習会だより



たの かい まっちゃたいけん
「お楽しみ会～抹茶体験」

げつようごぜん ちやう べに ちゆうごく
月曜午前 張 紅 (中国)

は少し異なります。糸は引かないものの、香りは日本の納豆と同じです。そして、長期保存用に平たく煎餅状に伸ばして乾燥させた乾燥納豆もあり、砕いて粉末状にして調味料としてよく使います。シャン州で作られている魩鮪には、青い葉で巻き、魚の乗せ方など、風情そのものが日本とそっくりなものもあります。魚だけではなく、エビ、豚肉や牛肉もあります。日本でも代用品でシャン州の味を再現してくれるミャンマー料理屋がたくさんできていますが、やはり何か物足りない感じがします。

シャン州に安心して帰省できる日が一早く訪れることを願いながら懐かしく「ふるさとの食文化」を紹介させていただきました。



シャン州の山脈 (ウィキペディアより)



シャン州のマッコオンカオ

抹茶といえば、皆さんは次のようなものを思い浮かべますか。抹茶ケーキ、抹茶アイスクリーム、抹茶チョコレート..... などなど。しかし、抹茶そのものは一体何なのでしょう？多くの人は私と同じようにぼんやりとしたイメージしか持っていないのではないのでしょうか。

令和6年最後の日本語の授業で、サロンでは日本の手作り抹茶体験が行われ、学習者達は本格的な日本の茶道の魅力を感じながら、ボランティアさんから「抹茶」を紹介されました。手作り抹茶は初めての体験だったのです。

抹茶は茶葉をそのまま食べる方式で、茶葉に含まれる有効成分が体内に吸収され、心を落ち着かせる効果もあると言われています。抹茶は栄養価も高いです。抗酸化物質が豊富で、体の老化や病気に抵抗するのにも役立ちます。また、抹茶に含まれるアミノ酸とミネラルは、体の代謝と免疫力を向上させる働きもあります。

日本の抹茶といえば、宇治抹茶の名前を挙げなければなりません。宇治は日本の四大抹茶産地のひとつで、今回の体験授業で使われたのも宇治抹茶です。

まず、抹茶に泡をたてます。泡を作る過程にこだわりがあって、かき混ぜずに上下に打ち返し、細かい泡がたつほど抹茶の口当たりがなめらかで美味しく仕上がります。抹茶には苦味が含まれるため、味わう前に甘いお菓子を食べて、先に口に敷いておくと、口中にほんのり甘い後味が残り、その後、抹茶が口中で中和され、苦味がある程度取り除かれるため、お茶が飲みやすくなります。飲む時に、茶碗を手を持ち、3回ほど手で回して、3～4口で飲み切ります。飲んだ後、抹茶の苦味からもたらす旨味をゆっくり

と感じます。

今回の体験は、抹茶を味わうだけでなく、抹茶のたて方も体験できて、とても面白かったです。軽い体験ではありますが、抹茶の魅力も実感できました。もし、あなたも抹茶や日本の茶文化に興味があれば、いつか是非体験してみてください。抹茶の独特の香りと少しの苦味を感じて、お菓子に合わせて、本当にいい経験を味わいました！



みな

がくしゅうしゃしょうかい

皆さんよろしく◇学習者紹介

李 鴻飛さん、周 文静さん (中国)

「がんばれ！ あきらめないで！」



夫の私は李鴻飛、妻は周文静です。私のニックネームは玲瓏、妻は灵犀です。広西省桂林市から、2024年8月22日に来日し、9月頃、サロンに来ました。

世界は広く人生は短いので外の世界を見てみたいと思ひ、夫婦で日本のアニメ(『鉄腕アトム』、『セーラームーン』など)が大好きだったので日本に来ました。

私は1991年から4年間、日本に語学留学し、帰国後、工場勤めや、友と予約制のレストランを開業していました。日本では、夫婦と姉(日本在住)で旅行や貿易、レストランなどの会社を起業し、3月末に矢川駅に「桂林」という中華料理店を開業予定です。妻は広告会社で働いていたので接客、セールストークの経験が豊富です。私の性格は、責任感が強く勤勉で、妻は明るく前向きで忍耐力もあります。

妻とはインターネットで知り合い2006年に結婚しました。家族は夫婦と子供二人の四人家族です。

趣味は、旅行と料理ですが、料理は私が作ります。すっぽん料理が得意で、桂林は料理の上手い男性が多いです。他にも私はアンティーク(歴史跡の訪問含む)、妻は読書、映画、アニメが趣味です。好きな食べ物は、マグロの刺身、天ぷら、鰻の寿司です。

日本は、人の性格が穏やかで礼儀正しく、社会全体が良い雰囲気、サロンは、仲良く優しく親切で人助けを良しとする善良さがあります。好きな日本語は、「がんばれ」と「あきらめないで」です。

将来は、作った会社が順調に発展し、故郷の桂林の美味しいもの、美しい景色を多くの人に知って欲しいです。
(聞き書き・末田)

新ボラさん こんにちは

「芙蓉の花にもらった力」

「学習者の気持ちになって」

金曜夜ボランティア 佐々 百々子

金曜午後ボランティア 富田 博

何も知らない外国語を習うのはどんな気持ちだろう？自分も中学校に入って英語を習い始めたときや大学で第2外国語を習い始めたときには今の日本語の学習者と同じような気持ちだったと思います。でもそれも遠い遠い昔のことなのですっかり忘れてしまいました。

そこで最近スペイン語を習い始めました。授業はほぼスペイン語だけで行われ、初めのうちは何が話されているのか全然わかりませんでした。意味がわからない以前に言葉が聞き取れませんでした。でも先生が何度も何度も同じ言葉を繰り返し、身振り手振りで説明してくださるとだんだん少しずつわかったような気になってきました。

その授業のなかでは聞いて話すことが多く、読み書きは宿題になります。日本語教授法研修のなかで山田先生も、学習者がテキストを見ないで先生が言った文章を繰り返させるのは効果的だとおっしゃっていました。私も学習会のなかで同じようにやっていたのですが、習う立場になってみるとこれがいかに難しいことかよくわかります。聞き取ること、それを同じように発音することがいかに難しいか、日本語を(母語ではなく)外国語として学んでいる学習者の気持ちがよくわかります。

今後この気持ちを忘れずに学習会に参加していきたいと思います。



11月、我家の庭には、山茶花と酔芙蓉が所狭しと咲き誇っています。夕暮れが近づくにつれて薄いピンクから紅色に変わる酔芙蓉ですが、花言葉は、繊細な美・幸せの再来です。次から次へと咲きますが、一日しか持たない繊細な花で、儚ささえ思われる花です。

40年近く前の11月、私達家族は夫の仕事の都合で、西ドイツベルリンに赴きました。渡独当初、役所に出す証明書に写真が必要な為、写真館に撮影に行きましたが、その店主から突然撮影を拒否されました。人種差別です。黄色人種を写真に撮るとカメラが汚れるから次の客を撮れないというのです。ドイツは親日家が多いと聞いておりましたので大変ショックを受けました。気落ちして子供たちと家に帰ると、リビングルームに隣接されている温室には芙蓉の花が爛漫と咲いていました。ビビッドなピンク色で主張が強く頼もしく微笑んでくれ、力をもっていました。

差別を自分事として捉えることができるようになったのもその時の経験からかも知れません。

これも又35年前の11月ですがドイツを東西に隔てる分断の壁が崩壊しました。その後も世界各地の分断の壁は増え続け、今では総延長が地球1周分4万キロになるそうです。悲しいことです。

リタイア後は就労支援のボランティアを続けています。長年職に就いていない方、精神疾患から立ち直った方など相談者の背景は様々です。公共職業訓練も紹介し、受講してもらっています。コロナ禍を経てから求人倍率が上がり私の活動にも時間的余裕ができました。そんな時、この日本語教室を知りました。他の世界も経験したい、キラキラした仲間と出会えるのではと思いました。学習者さんにも日本は優しいと映っているはず。健康に気を付け続けていけたらと思います。

おし かた こんな教え方しています ～ 24 ～

「楽しく学ぶことをモットーに」

きんようご 野田 幸子
金曜午後ボランティア

国際交流サロンに通い始めてからあつという間に20年が経過した。学習時間の配分はいつも大体同じで以下のスケジュールに沿って教案を作っている。

<5～15分>

*新規学習者に対して

自己紹介、来日の目的、家族状況、対応言語、学習目標(ニーズ)の確認、趣味など。

*リピーターの場合

前回の復習、宿題の回答や解説、前週の出来事、天候など。

<40～60分>

その日の目標とする学習項目、文法解説など。テキスト音読、ロールプレイ、練習問題、応用問題～休憩後～

<40分>

フリートークを交えて日本の生活習慣、食文化、マナー、日常に役立つ表現などを広告チラシ、その他の教材を使用して学ぶ(例:節分、花見、彼岸、折々の行事他)。学習者と話す話題を多く用意する。悩みごとがあれば相談に応じる。要望に応じて日本語の能力試験の問題集など。

<5～10分>

その日学んだ項目の復習(表現のリポート)、宿題(作文など)。

予定通り進まないことも多いが、焦らず、学習者のペースで無理なく進める。語学の学習は、お互いの心の交流からスタートするとの思いをもって、続けていきたい。そして、最も心がけていること - それは、学習者がサロンで楽しく勉強できるような工夫することに尽きる。

ひろ ば みんなの広場

「レベッカさんが

ほんやく さいゆうしゅうしょう じゅしゅう
翻訳コンクールで最優秀賞を受賞！」

文化庁が主催する「第9回JLPP翻訳コンクール」で、月曜午前の学習者のグレアム・レベッカさんが「現代文学部門(英語)」の最優秀賞を受賞されました。この翻訳コンクールは、日本文学を海外に広めることを目的に、課題の小説、エッセイを外国語(英語、ドイツ語)に翻訳するものです。今回の課題は、小説1作品(『マイホーム』・井戸川射子 著)、エッセイ3作品(『カブキ』『七月の私』『父セリフ三選』・岸本佐知子 著)の計4作品で、レベッカさんはそれぞれを英語に翻訳され、応募者132名の中から最優秀賞に選ばれました。

選者の一人は、「全体的にみて、グレアムさんの翻訳は、圧倒するように感情をかきたてる原作のヴォイスを、最も力強く表現していた。」と評していました。授賞式は、2月22日(土)に京都の文化庁で行われ、その模様は東京のサテライト会場でも同時中継されました。レベッカさんの英訳と課題になった4作品は、「[第9回JLPP翻訳コンクール](#)」にアクセスしていただけるとご覧になれます。(編集部)

「サロンの春休みのお知らせ」

3学期の学習会は、3月24日(月)で終わります。新学期は、4月7日(月)からはじまります。

3月25日(火)から4月6日(日)までは春休みになります。

なお、春休みの間、サロン事務局は以下の日程で開いています。

日程：3月25日(火)から4月6日(日)までの土・日を除く毎日

時間：午前9時半～午後4時半

*詳しいことは、サロン事務局で聞いてください。

「訃報」

～編集後記～

金曜夜の学習会に所属され、長年活動されていた赤木喜代恵さんが、去る1月31日に永眠されました。1920年(大正9年)9月15日にお生まれになり、享年104歳でした。

学習会では、主に東芝府中で働くベトナムからの研修生を担当されました。日本語はもちろんのこと、日本の文化、歴史、また世界情勢などについても、その博識を以て教えられ、多くの学習者に慕われていました。とりわけ俳句については、ご自身も『月の匣』という句会に身を置かれ、多くの俳句を詠まれました。この「くろする〜ど」でも、2018年に「俳句随想〜春夏秋冬に思う」という連載欄を設け、4月号から季節ごとに年4回寄稿をしていただきました。

2020年に100歳を迎えられた際には、教え子のベトナムの学習者や金曜夜のボランティア有志によって赤木さんを囲んでのお祝いの会が開かれました。教え子の一人、コアくんからプレゼントされたベトナムの民芸品のポシェットは、その後ずっと身に付けていらっしやいました。

「葬儀は行わない」というご本人の遺言に沿って2月3日に市民聖苑で執り行われた直葬にはサロンからも縁の方々に参加されお別れをしました。

人生の鑑として多くのことを教えてくださった赤木さんに感謝しつつ、ご冥福をお祈りいたします。

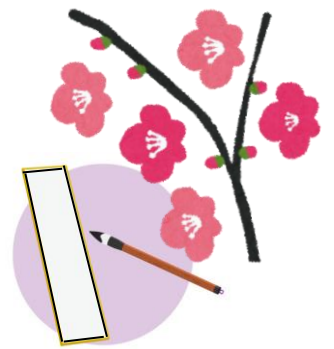
(編集部・和田)

今月は月曜午前部会から学習者を紹介していただき、ほとんど通訳のお力をお借りして、学習者へのインタビューをととても楽しく行うことができました。記事に反映されているといいのですが…。

来月は、紹介していただいた月曜午後の学習者のインタビューを掲載する予定です。

今までは、会報部会員が参加している学習部会の学習者を掲載することが多かったのですが、各学習部会で紹介していただくと、一緒にインタビューに参加してくださるボランティアの方も含め、新たな発見や驚きもあり、各学習部会での信頼関係も深まる場になると思いますが、いかがでしょうか。

引き続き、学習者紹介や、学習者自身の投稿の推薦を、よろしく願います。(末田)



「訂正とお詫び」

前号(2月号)の「新ボラさんこんにちは」で紹介しました柴谷真子さんのお名前の読み方に誤りがありました。「真子」を「まこ」とルビを振りましたが、正しくは、「なおこ」です。訂正してお詫び申し上げます。(編集部)

【創刊】 1997年11月
【編集】 編集長：和田泰弘
会報部会：末田・和田・堤林・岩城
【事務局】 電話：042-352-4178
E-mail：mail@fuchukokusai.gr.jp
サロンのホームページ
<https://www.fuchukokusai.com/>

